

制度設計

- 関係者の立場に応じた**多様な取引需要をマッチング**し、**納得感のある取引を実現**する場として現物市場を設計。
- 需給を反映した取引の情報として、**取引量と取引価格に関する情報**を生産者を始めとする関係者への**需給シグナル**として伝達。
- **今後一層具体化してスタート**し、取引参加者のニーズを踏まえながら見直し。

情報共有の場

- ✓ 農水省 ✓ 買い手（卸売業者、中食・外食業者） ✓ 売り手（集出荷業者、生産者）

- 米取引に関する**定期的な意見交換**の実施（12、3、6、9月頃）
 - ✓ 買い手の需要見通し・品質の要望、売り手の翌年産米の作付の見通し
 - ✓ 買い手の販売動向・今後の見通し、売り手の当年産の生育状況・各産地の動向
 - ✓ 米の需給情報、米をめぐるコスト構造、新品種、環境対応、技術、施策に関する情報 等
- **需給動向等の情報基盤**の構築（多くの関係者が常時アクセス可能）

相 対 取 引

現物市場※（マッチングの場）

- ✓ 配送手配 ✓ 決済（代金回収） ✓ 情報処理・情報提供 ✓ 事故・クレーム処理 等
※開設・運営コスト、取引参加者のインセンティブになる機能等のほか、細部についてビジネスベースで継続検討

<大口取引>

- **集出荷業者と卸売業者**との取引
- **大口**（トラック1台：12t程度）
- **定期取引**（年7回程度）+ **随時取引**
- **産地品種銘柄 + 用途**※
※主食用を中心にスタート
- **マッチング取引**※
※売り手・買い手の取引条件を基に開設者がマッチング
- **期日を定めて受渡**（産地倉庫から配送）

<小口取引> ※

- ※事務処理にデジタル技術を活用
- **生産者と卸売業者・実需者**との取引
 - **小ロット**（フレコン1袋：1t程度）
 - **定期取引**（5月、11月）+ **随時取引**
 - **産地品種銘柄 + 用途 + 栽培方法等**※
※有機栽培、特別栽培、環境対応等
 - **マッチング取引**
 - **売り手が受渡手法を提案**

現物市場的取引の場（卸売業者間等取引）

価格指標

- **相対取引**
 - ✓ 相対取引に関する**量・価格**（加工値）を公表（取引参加者のニーズを踏まえて見直し）
- **現物市場（マッチングの場）**
 - ✓ 代表的な産地品種銘柄等に関する**高値帯・中値帯・安値帯**※、これらに対応した**取引量**を公表
※高値：最も高い取引価格の幅帯、中値：最も取引量が多い取引価格の幅帯、安値：中値未満で最も取引量が多い取引価格の幅帯
- **現物市場的取引の場（卸売業者間等取引）**